

プロフィール

こんにちは。行政書士の木原奈緒美です。

私はもともと法律関係の勉強や仕事をしていただけではありません。大学は国文学科で、「源氏物語」とか「枕草子」とか、おもに平安時代の文学を専攻していました。教員の免許も持っていますので、学習塾で教えたりもしています。それがなぜ、畑違いの「行政書士」なんていう道に進んだのかというと・・・。

これまでの人生の中で、いろいろな場面で、いろいろな人に助けられてきました。人生の折り返し付近にやってきて、そろそろこちらがお返しをするべき時なのかな、そんなことを思ったりもします。「行政書士」という仕事を通して、恩返しの実事でもできないだろうかと考えた次第です。自分はとても小さな存在なので、たくさんの人を笑顔にすることなどはできません。ですがせめて手の届くところにいる人にとっては、笑顔でいてほしいとそんな思いを抱いて業務に取り組んでいます。



ニュースターお送りします！

早いものでもう10月。ほんの少し前まで、汗ばむ陽気だったのに、ずいぶん過ごしやすくなりましたね。（ときには少々肌寒いくらいです。）

このニュースターは、お取引のあったお客様、お問い合わせのあったお客様にお送りしております。どうか最後までお付き合いください。

【コラム】「先延ばし」をしてしまう本当の理由

子どものころ、夏休みが終わりに近づいて、「ああ、もっと早くやっておけば。」と、ちよびり後悔の念にさいなまれながら宿題を片づけた経験はありませんか？ そうなることはあらかじめ予想できたにもかかわらず、です。

サクサクと物事を片づけていける人、物事を「先延ばし」することなく、決めたとおりに進めていける人には、この記事は不要かもしれません。ですがもし、「これはまたあとで」とか「期限はまだ先だから」など、「先延ばし」にしてしまうことが少なからずあるのであれば、この記事を読み進めてほしいと思います。

あの時こうしていれば、違う結果になっていたかもしれない、大なり小なりそんな思いを抱いたことはないでしょうか。

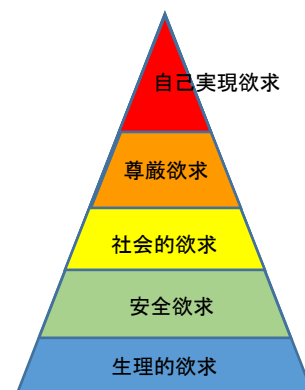
現在の「自分」というのは、良くも悪くも10年前に自分が思い描いた「自分」の姿であると言われる。会社の場合であれば、「自分」を「会社」におきかえてみるとわかりやすいですね。

つまり、そのとき行動しなかった、先延ばしにしてしまったことがあったとしたら、それらを含めて、現在の自分があるということです。

先延ばしをしてしまうと、それをやらないことで、もやもやしたすっきりしない状態が生じ、それがストレスにもなります。冒頭で述べた子どものころの宿題はまあ、今思えばそれほど大したことではないにしても（子どもにとっては「大したこと」にはちがいませんが）、やらなかったことで時機を逸することは、ビジネスをしていくうえでは大きな損失にもなりかねません。

では、どうして人は物事を「先延ばし」にしてしまうのでしょうか。このことに関して、あるアメリカの起業家が、とても興味深いことを書いていたので、それをシェアしたいと思います。

アブラハム・マズローというアメリカの心理学者は、人間の欲求を5段階に分けて説明しています。（右図）まず、食べたい、飲みたい、寝たいといった生理的欲求がその最下層にあります。





約600万年前に最初の人類（猿人）が出現したとされていますが、人類は長い間この生理的欲求、つまり「本能」に基づいて生活してきました。次第に「安全欲求（危険を避けて安全に暮らしたいとする欲求）」「社会的欲求（集団に属す、誰かと一緒にいたい）」「尊厳欲求（人に認められたい）」「自己実現欲求」という高度な欲求が生まれてきました。

人類は、そういう「高度な」欲求を獲得しましたが、私たちは皆、マズローの考えで言うところの底辺にあたる「生まれつきの欲求」にかられて行動することがあります。そして、自分の健康や幸せを脅かすものから本能的に逃げようとします。そうした自己の防衛本能の発動が、「先延ばし」であると、先の起業家は述べています。

思うに「先延ばし」にすることがらというのは、やらなくてはいけないとはわかっているけれど、やりたくないこと、やった方がいいと思うが、気が乗らないことですね。

好きなこと、積極的にやろうと思うことは、先延ばしなどせずにさっさと片づけてしまいますから。

「先延ばし」が防衛本能なら、まあ仕方ないか、と考えることもできます。そのまま放置しておくのも、一つのやり方です。

でも、やはり、なんとかコントロールしたい、と私は考えます。

先延ばしのデメリットは重々承知していますから。

では、「先延ばし」しないために、どうしたらいいのでしょうか。

本能であるからには、何とか乗り越えていかなければなりません。

✓小さなことでも「先延ばし」にしないという意思を持つこと。

✓今日やるべきことをリストアップして、先延ばししそうなことをまずやってしまうこと。

お問い合わせ先

行政書士きはらなおみ事務所

〒920-0955

石川県金沢市土清水 2-335 103号

Tel&Fax 076-255-2822

メール info@gyosei-kihara.com

HP <http://gyosei-kihara.com/>

ブログ <http://ameblo.jp/pure-soul02/>

私たちはおながすいたからといって、場所と時間をわきまえずに、いつでもどこでも物を食べたりはしません。「食べる」という生きる上での最重要な本能の部分は、なんとかコントロールできています。

であるならば、このやっかいな「先延ばし」という防衛本能も、コントロールできるはず。

とはいえ食欲のように一筋縄ではいきそうにありませんけれど、なんとか手なずけて日々過ごしていきたいものです。

行政書士って何をする人ですか？

このレターを読んでいらっしゃる方は、行政書士という業種をご存知だと思いますが、世間一般ではまだまだあまりなじみのない業種です。10月には、「行政書士広報月間」でもありますので、行政書士のお仕事を簡単にお話いたします。

官公署に提出する許認可等の申請書類の作成と手続の代行ということが一般に知られていることと思います。そのほかにも、

- ・遺言書や遺産分割協議書の作成（相続人の調査や財産調査等も行います）
- ・離婚協議書の作成（当事務所では協議書の作成にあたっての離婚相談も行っております）
- ・各種契約書、内容証明などの作成
- ・外国人の在留資格（就労、永住、その他）、帰化等の申請の取次

など、メイン業務は「書類を作成すること」。この書類を作成することを通して、皆様の利便に資することを業としております。

行政書士はトラブルが生じた場合、そこに介入することはできません。

トラブルに発展しそうな事柄に関して、それを事前に防ぐことが行政書士の仕事と心得ています。

【編集後記】

今回のコラムのテーマ「先延ばし」は、自戒の意味を含めて取り上げてみました。あなたはいかがでしょう。

感想などをお寄せいただくと嬉しいです。

最後までお読みくださりまして、ありがとうございます。